

平成 29 年度 学力向上グランドデザイン

生徒の実態

- 明るく素直で、一生懸命授業に臨む生徒が多い
- 学力は、全国平均並の教科が多い
- 予習、復習に取り組む学習習慣が身に付いていない

教育目標

意欲をもって学ぶ生徒
認め合い高め合う生徒
自ら心身を鍛える生徒

保護者の願い

- 正しい知識を身に付けてほしい
- 教えるべきところはしっかり教えてほしい
- 子どものよいところを伸ばしてほしい

教師力

- 教師一人一人の専門性を発揮した指導
- 現状に満足することなく、常に向上心をもった指導
- 教師間の連携・協力による指導

目指す生徒の姿

- ◎ 将来に夢を抱き、実現に向けてひたむきに努力する生徒
- 授業に真剣に取り組む、目標をもって、主体的に取り組む生徒
- 学習習慣を身に付け、予習や復習を欠かさぬ生徒

地域力

- 村教育委員会の施策
→サマースクール、土曜学習
- 地域人材の支え
→コミュニティ・スクール委員会
- 幼・小・中の接続
→おおたま学園オープンスクール

PLAN

- 目標値 1 全国学力学習状況調査(対象3学年) 偏差値国語52 数学53
- 目標値 2 福島県学力調査(対象2学年) 偏差値国語52 数学52 英語52 理科52
- 目標値 3 標準学力検査(NRT) 実施教科の平均偏差値52以上 または 前年比+2
- 目標値 4 標準学力検査(NRT) 実施各教科の1段階生徒の5%減少と5段階生徒の5%増加
- 目標値 5 毎日3時間の自主学習時間(授業以外の学習時間)の確保

DO

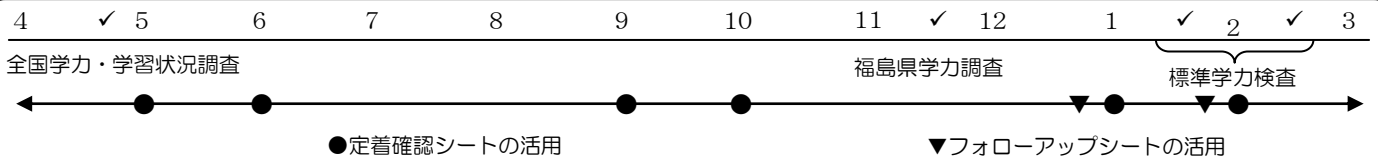
授業の充実と好ましい学習習慣の確立

○基礎・基本の確実な定着
⇒生徒の実態及び個の状況に応じた指導方法の工夫と改善
⇒分かる授業のための指導方法の工夫と改善
⇒学習のねらいに即した「めあて」と「まとめ」、「振り返り」の確保
⇒定着確認シート及びフォローアップシートの確実な実施

◎学ぶ意欲の向上と高め合い、認め合う学習集団づくり
⇒教師主導及び説明偏重の打破(主体的・対話的で深い学びの導入)
⇒ICTの積極的な活用と教材・教具の開発
⇒共に学ぶ学習集団としての学年・学級経営の充実
⇒言語活動の効果的な位置付けと活性化

◎充実した家庭学習
⇒教科指導と学級指導との連携
⇒家庭学習の方法の指導徹底と課題(宿題)の適量化
⇒授業と家庭学習の関連重視とメディアコントロール等、好ましい生活習慣の確立

○同僚性に支えられたOJTの取組
⇒相互参観等による教科部会の充実(現職教育)
⇒外部研修への積極的な参加



※各教科における学習シートの活用(通年)

CHECK

全国学力・学習状況調査

福島県学力調査

標準学力検査

定期テスト

各種確認テスト等

達成状況(到達度)・定着状況(定着率)の確認

Result & Problem

ACTION

短期・長期目標の設定

指導方法の改善

学習環境の充実

Re-Challenge

New Plan